

あべちょこ

～あべのの情報をちょこっとお届け～

ちいさつながり応援隊 情報誌

Vol. 17

2026年度
8月発行



常盤
地域

ときわ花づくり広場

まちなかで色とりどりに咲く
花々。実は、その多くが地域ボ
ランティアの皆さんによって、
大切に育てられていることをご
存じでしょうか。



阿倍野区では、阿倍野区ふれあい花づ
くり（花と緑のまちづくり支援事業）の
一環として、区内を花で彩るまちづくり
を進めています。その活動拠点が「とき
わ花づくり広場」です。

ここでは、「常盤連合花づくり部」を中心としたボランティアの皆さんが、種まきか
ら苗づくりまでを日々手作業で行っています。育てられた苗は、小学校や保育園、町会、
社会福祉施設、公共施設などへ届けられ、地域へ花をつなぐ「花づくりリレー」が行わ
れています。

令和8年4月には、マリーゴールド、ペチュニア、ジニア、キンレンカ、コリウスの5
種類、合計約12,400粒の種をまきました。ボランティアの皆さんは毎朝9時から10時30
分頃まで活動し、当番制で水やりや苗の管理を行っています。都合が悪い日は互いに代
役を務めるなど協力し合いながら、15年以上にわたって活動を続けています。

苗の成長に合わせて水やりを工夫し、葉が5～6枚になると一株ずつポットへ植え替
える「鉢上げ」を行います。また、肥料づくりや大量の苗への毎日の水やりなど、体力を
要する作業も多くありますが、ボランティアの皆さんは力を合わせて丁寧に取り組んで
います。こうした日々の積み重ねが、丈夫で元気な花苗を育てています。

②面へ続く

5月

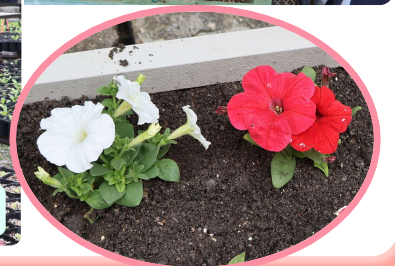
ポットへの入れ替え



水やり



肥料づくり



6月



美章園植え替え

また、ときわ花づくり広場は花を育てるだけでなく、地域の交流の場にもなっています。「最近〇〇さんを見かけへんね」「近所に気になる人がいる」といった見守りの話題が自然に交わされ、常盤地域のつながりを支える大切なコミュニティとなっています。

令和8年6月には、育てた苗をJR美章園駅へ運び、朝からボランティア総出で花壇へ植え替えました。

美章園駅の花壇は、令和7年大阪・関西万博で使用された花壇を再利用したものです。植え替え後もJR美章園駅や近鉄河堀口駅の花壇は、常盤連合花づくり部の皆さんが継続して手入れを行い、美しい景観を守り続けています。

まちなかを彩る花の一輪一輪には、地域ボランティアの皆さんの温かい思いと日々の積み重ねがあります。花を見かけた際には、その背景にある地域の活動にも、ぜひ目を向けてみてください。



令和8年度 つながる四季サロン

- 春の会 -

フルートアンサンブル
あんだんて

▼ 春の会：4月2日(木)

フルートの繊細で美しい音色による春のメドレーが披露されました。参加者の皆さんは演奏に耳を傾けたり、歌詞カードを見ながら一緒に歌ったりして楽しみました。また、曲に合わせて体を動かす時間もあり、心身ともにリフレッシュすることができました。

▼ 夏の会：7月2日(木)

明るくもどこか切ない音色のウクレレに合わせて14曲、各々想いをのせて一緒に歌いました。また、ハワイの曲にあわせた華やかなフラダンスを鑑賞し、一緒に踊るシーンもあり、口々に「楽しかった！」のお声をいただきました。

実施しました！

- 夏の会 -



ウクレレハウモン'ズ

▼ 秋の会：10月1日(木)

▼ 冬の会：12月3日(木)

実施します！

10:30~12:00 (催事10:30~ お茶11:30~)

文の里会館(昭和町1-6-6) / 参加費100円

